

# 環境活動レポート

2016年度

対象期間：2016年4月～2017年3月



2017年5月12日

株式会社 細田商店

## 1. 組織の概要

### (1)事業所名及び代表者名

事業所名：株式会社 細田商店

代表者名：代表取締役 細田元尉<sup>※</sup>

※平成29年4月1日付けで、専務取締役から昇格・就任いたしました。

### (2)所在地

本社：〒331-0815 埼玉県さいたま市北区大成町4-57-12

マテリアルセンター（旧本社）：〒331-0056 埼玉県さいたま市西区大字三条町59番地

処理分別場：〒350-0002 埼玉県川越市大字古谷本郷1570番地

### (3)法人設立年月日

平成 6年 7月 1 2日（有限会社 細田商店）

平成22年 2月 23日（株式会社 細田商店）

### (4)資本金

1,000万円

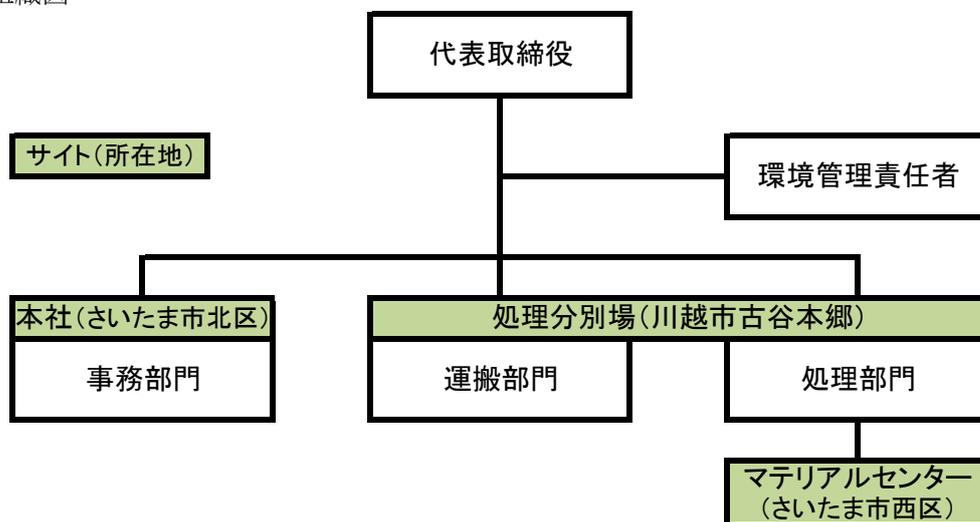
### (5)環境管理責任者氏名及び連絡先

環境管理責任者：西田記子事務長

連絡先：埼玉県さいたま市北区大成町4-57-12

（電話）048-666-6538、（FAX）048-666-6590

### (6)組織図



### 《役割・責任》

社長：環境方針の決定。社長によるEA21活動の見直し。必要な経営資源の投入

環境管理責任者：環境経営システムの確立・実施・維持。社長見直し時にEA21活動状況報告

各部門：EA21活動及び結果の報告

《事業の概要、事業規模等》

(7)許可の内容

産業廃棄物処分業（中間処分）、産業廃棄物収集運搬業、特別管理産業廃棄物収集運搬業、一般廃棄物収集運搬業、解体工事業、第一種フロン類回収業、廃棄物再生事業につき、それぞれ許可・登録あり。詳細については巻末別表に示します。

(8)施設の状況

①運搬車両

名称	保有台数
10トン大型	1
4トンコンテナ	5
パッカー（2トン、4トン）	2
3トンコンテナ	1
2トンクレーン	1
2トンコンテナ	2

②その他車両

名称	保有台数
後方小型旋回油圧ショベル	3
フォークリフト	2
ミニホイールローダー	1

②収集運搬積み替え保管施設（川越市古谷本郷下組字川崎1568番1、1570番）

産業廃棄物の種類	保管面積	保管高さ
木くず（20cm×20cm以下の角材で再生利用可能なものを除く。）以上1種類	18m <sup>2</sup>	1.5m
金属くず 以上1種類	18m <sup>2</sup>	1.5m
ガレキ類 以上1種類	20.24m <sup>2</sup>	1.125m
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず（陶磁器くずに限る）以上1種類	20m <sup>2</sup>	1.5m
繊維くず（廃畳に限る） 以上1種類	12m <sup>2</sup>	1.5m (7m <sup>2</sup> コンテナ1台)
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず（廃石膏ボードに限る） 以上1種類	32m <sup>2</sup>	1.5m (7m <sup>2</sup> コンテナ3台)

③処理分別場施設概要（川越市古谷本郷下組字川崎1568番1、1570番）

処理施設

施設の種類の	処理能力	産業廃棄物の種類	許可年月日
破 碎	2.8トン/日 (8時間)	廃プラスチック、以上1種類	平成14年4月5日
切 断	4.6トン/日 (8時間)	木くず（20cm×20cm以下の角材で再生利用可能なものに限る。）、以上1種類	平成19年1月16日

保管施設

廃棄物の種類	保管面積	保管高さ
廃プラスチック、以上1種類	18m <sup>2</sup>	1.5m
木くず（20cm×20cm以下の角材で再生利用可能なものに限る。）、以上1種類	20m <sup>2</sup>	2.5m

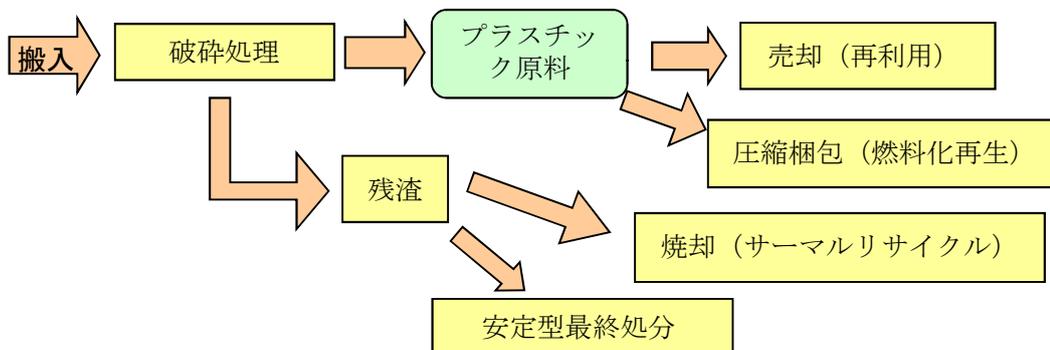
④マテリアルセンター（廃棄物再生事業者登録による再資源化事業）

所在地：さいたま市西区大字三条町井荻59番（面積：598㎡）

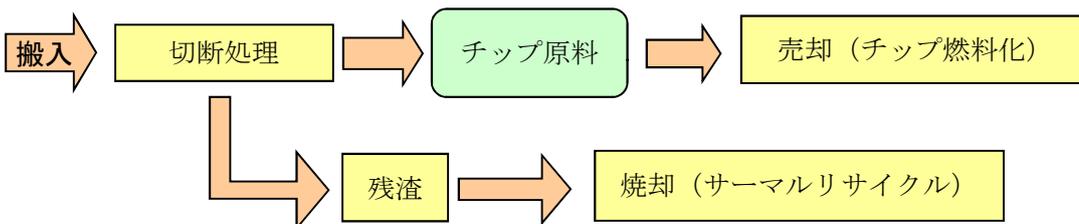
事業内容： 金属くずの選別・切断  
古紙の圧縮・梱包

⑤処理工程図（処理分別場）

【廃プラスチック】



【木くず】



(9)事業の実績、2016年度（2016年4月から2017年3月まで）

①産業廃棄物収集運搬量（単位 トン）

年度	2014年度	2015年度	2016年度
合計	5,127	6,323	6,692

②産業廃棄物中間処理量（単位 トン）

廃棄物種類等	処分方法	2014年度	2015年度	2016年度
廃プラ	破砕	786.6	754.9	810.6
木くず	切断	927.1	920.0	924.3

④一般廃棄物収集運搬量（単位 トン）

年度	2014年度	2015年度	2016年度
合計	5,360	10,530	11,540

⑤マテリアルセンター 再生資源化量（単位 トン）

年度	2014年度	2015年度	2016年度
金属類	340.2	439.3	167.9
古紙	84.4	60.7	48.4
合計	424.6	500.0	216.3

(10)廃棄物処理料金

廃棄物の種類、量、地域によって、金額は異なりますので詳細は、営業担当へご連絡下さい。  
電話番号（048-666-6538）

(11)事業の規模

2016年度（2016年4月から2017年3月まで）

年度		2014年度	2015年度	2016年度
売上高(百万円)		267	262	
従業員(人) <sup>※1</sup>		17	16	16
敷地面積 ( $m^2$ )	本社	262	262	262
	処理分別場	1,879	1,879	1,879
	マテリアルセンター	598	598	598
	合計	2,739	2,739	2,739

※1 従業員数は役員を含む。

(12)環境への負荷の状況

項目		単位	2015年度	2016年度
総エネルギー	購入電力	GJ	684	687
投入量	化石燃料	GJ	3,005	3,301
水資源投入量	上水	m <sup>3</sup>	233	207
	地下水	m <sup>3</sup>	2,591	1,582
二酸化炭素排出量 <sup>※1</sup>	二酸化炭素	トン-CO <sub>2</sub>	241	261
受託した廃棄物量	収集運搬量	トン	6,323	6,692
	中間処理量	トン	1,675	1,735
	うち再資源化等量	トン	1,054	1,027
	中間処理後の産廃の処分量 (最終処分;委託)	トン	621	708
	再生資源化量	トン	500.0	216.6
	一般廃棄物収集運搬量	トン	10,530	11,540
一般廃棄物等 総排出量	再生利用	トン	0	0
	熱回収	トン	0	0
	単純焼却	トン	0.5	0.5
	最終処分量	トン	0	0
総排水量	公共用水	m <sup>3</sup>	2,591	1,582
	下水道	m <sup>3</sup>	233	207
化学物質使用量 <sup>※2</sup>	なし	kg	0	0

※1 電力の二酸化炭素排出係数は、環境省が平成28年12月に公表した東京電力㈱における実排出係数『0.500kg-CO<sub>2</sub>/kWh』を使用しています。

※2 PRTR制度対象物質としての化学物質の使用はありません。

## 2. 対象範囲（認証・登録範囲）

対象事業所：本社、処理分別場、マテリアルセンター

対象事業活動：一般廃棄物・産業廃棄物収集運搬業、産業廃棄物処理業、  
廃棄物再生事業、貨物運搬業

### 3. 環境方針

## 環境方針

株式会社細田商店は、産業廃棄物の収集運搬・処理業務を行う企業として、顧客に対し安心して任せられる企業を目指し、廃棄物の適正処理、分別によるリサイクル事業に取り組みます。またさらに地球温暖化や資源保護の問題を人類共通の重要課題と認識し、環境保全活動に取り組み、循環型社会の構築に貢献します。

### 《行動指針》

1. 具体的に次の項目に取り組みます。
  - ①収集運搬車両、重機類の使用による燃料や電力を節約し、二酸化炭素排出量の削減に努めます。
  - ②廃プラ等の再生資源の受入量拡大をはかり、リサイクル事業を推進します。
  - ③分別の徹底により、当社の排出する廃棄物の削減に努めます。
  - ④節水の徹底により、水資源使用の節約に努めます。
  - ⑤事務用品のグリーン購入を推進します。
2. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。
3. 環境方針及び環境活動を全従業員へ周知し、環境活動を推進します。また活動内容は「環境活動レポート」にまとめ、広く公開します。

2008年6月1日制定  
2014年4月1日改訂3  
株式会社 細田商店  
代表取締役 細田元尉

### 4. 環境目標

2013年度までの実績を踏まえ、2016年度までの中期（3ケ年）の環境目標を決めましたが、2015年度の活動結果から、廃プラのリサイクル量が事業上の諸事情により大幅な減少を余儀なくされたため、廃プラリサイクル量拡大テーマの目標値は見直しました。

その他のテーマについては当初の3ヶ年計画に基づいた目標値としています。

なお今年度が3ヶ年計画の最後の年度で、来期はあらたに2019年度までの中期計画を策定し、推進していく予定です。

#### 2014～2016年度 環境目標

No.	環境目標項目	基準値 (2010～14年度 実績)	2015年度目標	2016年度目標
1	二酸化炭素排出量の削減(収集運搬車両の燃費向上)	14.5トン-CO <sub>2</sub> /月	50% 増以下 (21.8トン-CO <sub>2</sub> /月)	50% 増以下 (21.8トン-CO <sub>2</sub> /月)
2	廃プラリサイクル量の拡大	11.4トン/月	現状維持 (11.4トン/月)	30%減に留める (8.0トン/月)
3	木くずリサイクル量の拡大	70.0トン/月	現状維持 (70.0トン/月)	現状維持 (70.0トン/月)
4	自社排出の廃棄物の削減	月平均 40 kg	現状維持	現状維持
5	水使用量の削減	287m <sup>3</sup> /月	5% 削減 (273 m <sup>3</sup> /月)	10% 削減 (258 m <sup>3</sup> /月)
6	グリーン購入の推進	購入金額率 (月平均60%)	現状維持	現状維持

## 5. 環境活動計画（主な施策）

- |   |  |
|---|--|
| <p>①二酸化炭素排出量の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・燃費向上教育の実施</li> <li>・エコドライブの周知徹底</li> <li>・アイドリングストップ車両導入</li> </ul> <p>③木くずリサイクル量の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分別手順の検討と作成及び教育実施</li> <li>・リサイクル処理ルートの開拓</li> </ul> <p>⑤水の使用量削減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・節水教育と周知徹底</li> <li>・分別処理場構内散水の効率的運用</li> </ul> | <p>②廃プラリサイクル量の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分別手順の検討と作成及び教育実施</li> <li>・リサイクル処理ルートの開拓</li> </ul> <p>④自社排出の廃棄物の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分別の徹底でリサイクルの推進</li> <li>・意識向上の教育の実施。</li> </ul> <p>⑥グリーン購入の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文房具カタログから商品情報を得る</li> <li>・コストアップ<sup>o</sup>に配慮しながら商品を決め購入する</li> <li>・グリーン購入率を金額ベースで把握する</li> </ul> |
|---|--|

## 6. 環境目標の実績

（2016年4月～2017年3月までの12ヶ月の活動をまとめたものです）

No.	環境目標項目	基準値(2010～14年度実績)	2016年度目標	結果	評価
1	二酸化炭素排出量の削減(収集運搬車両の燃費向上)	15.4トン-CO <sub>2</sub> /月 (174トン-CO <sub>2</sub> /年)	50%増以下 (21.8トン-CO <sub>2</sub> /月)	21.8トン-CO <sub>2</sub> /月 (50%増) 261.6トン-CO <sub>2</sub> /年	○
2	廃プラリサイクル量の拡大	11.4トン/月	30%減に留める (8.0トン/月)	8.55トン/月 (25.0%減)	○
3	木くずリサイクル量の拡大	70.0トン/月	現状維持 (70.0トン/月)	76.8トン/月 (9.7%拡大)	○
4	自社排出の廃棄物の削減	月平均 40 kg	現状維持 (月平均40kg)	平均40 kg (現状維持)	○
5	水使用量の削減	287m <sup>3</sup> /月	10%削減 (258 m <sup>3</sup> /月)	149m <sup>3</sup> /月 (53%削減)	◎
6	グリーン購入の推進	購入金額率60% (月平均)	60%±5% を維持する	71% (11ポイント拡大)	○

※評価の目安：◎（目標大幅達成）、○（目標達成）、△（僅かな目標未達）、×（目標未達成）

### 【評価】

- (1)二酸化炭素排出量の削減；  
2015年度実績から修正した目標値は何とかクリアすることができましたが、結果的には、年間総排出量は、収集運搬量が増加し燃料使用量も増え、達成できませんでした。ただしエコドライブの徹底は浸透してきているので、来期も引き続き燃費向上に努めます。
- (2)廃プラリサイクル量の拡大；  
こちらも顧客の変化により取扱量の縮小が見込まれたため、目標値を大幅に下方修正していますが、修正した目標値に対しては達成できています。今後は現状維持を目指します。
- (3)木くずリサイクル量の拡大；  
こちらは現状維持が目標でしたが、想定よりはうまく対応できたため、目標値をクリアしました。今後も現状維持を目指します。
- (4)自社排出の廃棄物の削減；  
主に一般廃棄物としてのオフィスごみで、月平均約40kgと量的にもごく少量であるため、現状維持を目標としていますが、概ね現状維持できています。
- (5)水使用量の削減；  
効率的な工場内の散水を徹底し、十分な目標達成となりました。
- (6)グリーン購入の推進；  
グリーン購入の意識が定着し、購入率のさらなる向上ができました。

## 7. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

環境活動計画の内容	評価点	取組結果と次年度の取組内容
<b>事業活動へのインプットに関する項目</b>		
水使用量の把握、節水教育	5	節水意識は定着し、水撒きや飛散防止等、効率的な運用で大幅に目標達成できた。さらに徹底をはかる。
グリーン購入	5	グリーン購入の徹底を呼びかけ、意識は向上し、購入率は前年より飛躍的に伸びた。継続推進する。
<b>事業活動からのアウトプットに関する項目</b>		
節電教育	4	本社事務所の照明はすべてLEDを採用した。節電を呼びかけるポスター掲示に取り組み、さらに教育強化した。今後も継続する。
電気設備及び灯油適正使用	5	破砕機等の設備のメンテナンスを徹底し、さらに効率的な運転を実施しており、今後も継続推進する。
燃費向上教育	4	意識はさらに向上しており、今後も継続推進する。
エコドライブ、アイドリングストップ	5	徹底して取り組んでいる。今後も継続推進する。
リサイクル処理ルートの開拓	4	ルート開拓に努めているが、結果に結びつくのに時間を要している。継続して推進する。
<b>環境経営システムに関わる項目</b>		
顧客訪問及び新規顧客の獲得	4	新規顧客獲得に努め、数件の顧客と新規に取引が開始できた。継続して推進する。
法規制の管理	4	定期的に順守評価を実施している。今後も継続して推進する。
従業員教育	4	意識向上のための教育を実施している。今後も継続して推進する。

(評価点) 5点:90%以上 4点:70%以上 3点:50%以上 2点:30%以上 1点:30%未満  
(スケジュールに対する進捗度、目標値に対する達成度、取組み内容の適切性、及び推進者担当者の積極性等を総合的に評価しました)

## 8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

平成29年3月に環境関係法令等の遵守状況を確認した結果、問題はありませんでした。なお、過去5年間、関係当局からの違反及び近隣からの苦情等の指摘はなく、また訴訟もありません。

## 9. 代表者による全体の評価と見直しの結果

2年前頃から、あらたに取引先（排出業者）が増え、運搬車両の走行距離も増加しているため、各活動テーマの実績値に影響が出ていますが、目標値設定を含め、ほぼ満足な活動結果となりました。

これからは事業的にもほぼ安定的な活動ができると思われまますので、来期からまたあらためて計画を練り直し、さらなるレベルアップを目指し、活動を推進してまいります。

弊社ホームページもご覧下さい。 <http://www.hosoda-shoten.co.jp>

別表

産業廃棄物処理業等許可情報一覧表（平成29年5月1日現在）

産業廃棄物収集運搬業				許可品目(●)												
No.	都道府県・政令市	許可番号	許可年月日及び有効期限	燃えがら	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ
1	埼玉県	01101023232	平成28年9月20日 平成35年9月5日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
2	川越市	10310023232	平成28年10月7日 平成35年9月5日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
3	群馬県	01000023232	平成27年3月17日 平成34年3月16日	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	
4	東京都	1300023232	平成27年6月12日 平成34年6月11日			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
5	栃木県	00900023232	平成27年6月15日 平成34年6月14日			●			●	●	●	●	●	●	●	
6	茨城県	00801023232	平成27年10月27日 平成34年10月11日			●			●	●	●	●		●		
7	千葉県	01200023232	平成27年11月6日 平成34年8月13日		●				●	●	●	●		●		
8	神奈川県	01403023232	平成28年9月9日 平成35年8月31日		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
9	長野県	2009023232	平成28年2月24日 平成35年2月23日	●	●	●			●	●	●					
※1 10	福島県	00707023232	平成27年6月15日 平成32年6月14日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
産業廃棄物処分業（中間処分）				許可品目												
11	川越市	10320023232	平成26年4月30日 平成33年4月4日						●						●	

特別管理産業廃棄物収集運搬業				許可品目				
No.	都道府県・政令市	許可番号	許可年月日及び有効期限	廃油（揮発性）	廃酸（腐食性）	廃アルカリ（腐食性）	廃油（廃溶剤含む）	汚泥（廃溶剤含む）
12	埼玉県	01151023232	平成28年4月1日 平成35年3月31日	●	●	●	●	●
13	東京都	1357023232	平成24年10月9日 平成31年10月8日	●	●	●		
13	長野県	2059023232	平成29年3月28日 平成36年3月27日				●	

※1 No.10(福島県)の許可証を除くすべての産業廃棄物処理業等許可証において「優良産業廃棄物処理業者認定制度」に基づく「優良認定」を取得済みです。

その他業の登録証

				登録証種類
15	さいたま市	第167号	平成27年4月1日 平成29年3月31日	一般廃棄物処理業（収集・運搬業） 取扱一般廃棄物の種類（事業ごみ・道路公園等清掃ごみ・一時多量ごみ・特定家庭用機器一般廃棄物）
16	埼玉県	Ⅱ-60	平成22年9月28日 期限無し	廃プラスチック類再生
17	埼玉県	第Ⅰ-47号	平成17年3月9日 期限無し	廃棄物再生事業者（古紙圧縮・梱包、金属屑選別・切断）
18	埼玉県	第313号	平成16年12月24日 期限無し	計量証明事業
19	埼玉県	12440180	平成25年8月15日 平成29年8月14日	第1種フロン類回収業者
20	埼玉県	(登-17) 第622号	平成27年5月16日 平成37年6月16日	解体工事業